



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月31日

上場会社名 セントラル硝子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4044 URL http://www.cgco.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 清水 正
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理室長 (氏名) 宮内 徹 TEL 03-3259-7062
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	54,855	△0.1	1,225	△57.9	1,783	△38.7	983	△55.2
29年3月期第1四半期	54,928	△2.3	2,913	△8.7	2,907	△25.1	2,195	△15.2

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 2,926百万円 (ー%) 29年3月期第1四半期 △2,622百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	4.81	ー
29年3月期第1四半期	10.63	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	315,062	173,758	54.2
29年3月期	314,974	172,950	54.0

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 170,842百万円 29年3月期 170,021百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	6.00	ー	5.00	11.00
30年3月期	ー				
30年3月期(予想)		5.00	ー	25.00	ー

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「ー」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は5円となり、1株あたり年間配当金は10円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

(注2) 平成29年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 記念配当 1円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	110,000	4.4	3,500	△39.7	4,000	△30.6	2,500	△42.6	12.30
通期	228,000	△0.4	11,500	△11.4	12,000	△20.5	8,300	△22.5	204.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ： 無 |
| ④ 修正再表示 | ： 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	214,879,975株	29年3月期	214,879,975株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	12,500,130株	29年3月期	10,337,558株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	204,541,809株	29年3月期1Q	206,454,123株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、平成29年6月29日開催の第103回定時株主総会において、株式併合について承認されたことを受け、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金 第2四半期末 5円00銭(注1) 期末 5円00銭(注2)

2. 平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 第2四半期(累計) 12円30銭 通期 40円91銭

(注1) 第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払われます。

(注2) 株式併合考慮前に換算した配当額です。

(注3) 平成30年3月期の年間配当金(株式併合考慮前)は10円00銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の持ち直し等を背景に企業収益の改善が進んでおり、雇用環境の改善基調が続く中、個人消費にも持ち直しの動きが見られるなど、景気は全体として緩やかな回復基調となりました。

一方、世界経済は、米国では企業収益の改善や個人消費の増加を背景に景気回復が着実に続いているものの、米国新政権の政策動向、中国の住宅市場の過熱感や消費主導への構造改革の遅れ、英国のEU離脱決定の影響や世界的な地政学的リスクの高まりなどにより、先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは積極的な販売活動を展開いたしましたが、当第1四半期連結累計期間の売上高は54,855百万円と前年同期比0.1%の減少となりました。

損益面につきましては、経営全般にわたる業務の効率化・合理化施策を推進してまいりましたが、経常利益は前年同期比1,123百万円減少の1,783百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比1,212百万円減少の983百万円となりました。

セグメント別の概況

(ガラス事業)

建築用ガラスにつきましては、新設住宅着工戸数は対前年微増で推移しておりますが、工期遅れ等の影響により、売上高は前年同期並みとなりました。

自動車用ガラスにつきましては、国内は堅調であったものの、北米での販売の減速、一部顧客の在庫調整の影響等もあり、売上高は前年同期を下回りました。

電子材料用ガラスにつきましては、タッチパネル用関連製品の出荷量減少から、売上高は前年同期を下回りました。

以上、ガラス事業の売上高は35,599百万円（前年同期比1.1%減）となり、損益につきましては737百万円の営業損失（前年同期比1,267百万円の悪化）となりました。

(化成品事業)

化学品につきましては、フルオロカーボン製品は発泡剤向の出荷量が前年を下回りましたが、PAC・弗酸等の出荷が増加しましたため、売上高は前年同期を上回りました。

ファインケミカルにつきましては、半導体用途の特殊ガス関連製品やリチウムイオン電池用電解液製品の出荷が増加しましたが、医療品関連製品の出荷が低調に推移し、売上高は前年同期並みとなりました。

肥料につきましては、省力肥料を中心に出荷が堅調に推移し、売上高は前年同期並みとなりました。

ガラス繊維につきましては、自動車分野の出荷が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

以上、化成品事業の売上高は19,255百万円（前年同期比1.8%増）となり、損益につきましては1,962百万円の営業利益（前年同期比420百万円の減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ、受取手形及び売掛金が1,121百万円、配当の支払や自己株式の取得などにより現金及び預金が2,192百万円減少する一方、株価の上昇などにより投資有価証券が4,700百万円増加したことなどにより、88百万円増加し315,062百万円となりました。

負債は、有利子負債が240百万円増加する一方、賞与引当金が952百万円減少したことなどにより、719百万円減少し141,304百万円となりました。

純資産は配当の支払と自己株式の取得により2,023百万円、円高により為替換算調整勘定が1,366百万円減少する一方、株価の上昇などによりその他有価証券評価差額金が3,305百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が983百万円増加したことなどにより、808百万円増加し173,758百万円となりました。また、自己資本比率は0.2%増加し54.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間につきましては、ほぼ計画に沿った業績で推移しておりますため、平成29年5月11日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は修正しておりません。この業績予想は、当社が現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因によりこれらの予想とは異なる場合があります。今後の状況の変化に伴う影響を慎重に見極めながら、適宜見直していくこととしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,342	29,150
受取手形及び売掛金	49,439	48,317
商品及び製品	24,690	24,253
仕掛品	3,882	4,800
原材料及び貯蔵品	16,051	15,491
その他	6,833	6,083
貸倒引当金	△130	△163
流動資産合計	132,109	127,932
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,386	30,435
機械装置及び運搬具(純額)	42,130	48,163
土地	26,728	26,651
建設仮勘定	16,955	7,593
その他(純額)	3,501	3,560
有形固定資産合計	116,703	116,403
無形固定資産		
のれん	41	30
その他	1,371	1,353
無形固定資産合計	1,413	1,383
投資その他の資産		
投資有価証券	59,104	63,804
その他	5,921	5,816
貸倒引当金	△277	△277
投資その他の資産合計	64,748	69,342
固定資産合計	182,865	187,130
資産合計	314,974	315,062

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,122	18,845
短期借入金	21,159	22,839
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	1,195	876
賞与引当金	1,461	509
その他	24,491	23,615
流動負債合計	77,429	76,685
固定負債		
社債	20,400	20,400
長期借入金	21,913	20,474
役員退職慰労引当金	12	12
特別修繕引当金	5,089	5,250
事業構造改善引当金	3,053	2,881
環境対策引当金	145	145
退職給付に係る負債	7,518	7,602
その他	6,459	7,850
固定負債合計	64,594	64,618
負債合計	142,024	141,304
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,168	18,168
資本剰余金	8,117	8,117
利益剰余金	123,309	123,269
自己株式	△5,383	△6,383
株主資本合計	144,211	143,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,363	28,669
繰延ヘッジ損益	4	△58
為替換算調整勘定	152	△1,214
退職給付に係る調整累計額	289	273
その他の包括利益累計額合計	25,809	27,669
非支配株主持分	2,929	2,916
純資産合計	172,950	173,758
負債純資産合計	314,974	315,062

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	54,928	54,855
売上原価	43,293	44,601
売上総利益	11,635	10,254
販売費及び一般管理費	8,722	9,029
営業利益	2,913	1,225
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	539	653
持分法による投資利益	71	63
その他	376	451
営業外収益合計	991	1,173
営業外費用		
支払利息	112	128
為替差損	496	51
固定資産廃棄損	116	150
その他	271	285
営業外費用合計	997	615
経常利益	2,907	1,783
特別利益		
固定資産売却益	17	—
投資有価証券売却益	102	—
特別利益合計	119	—
特別損失		
固定資産売却損	—	15
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	—	16
税金等調整前四半期純利益	3,026	1,767
法人税等	801	709
四半期純利益	2,224	1,057
非支配株主に帰属する四半期純利益	29	74
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,195	983

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	2,224	1,057
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,210	3,305
繰延ヘッジ損益	90	△63
為替換算調整勘定	△2,601	△1,287
退職給付に係る調整額	29	△15
持分法適用会社に対する持分相当額	△154	△71
その他の包括利益合計	△4,847	1,868
四半期包括利益	△2,622	2,926
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,562	2,844
非支配株主に係る四半期包括利益	△60	82

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

- 1 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	36,011	18,917	54,928	—	54,928
セグメント間の内部 売上高又は振替高	44	240	284	△284	—
計	36,055	19,157	55,213	△284	54,928
セグメント利益(営業利益)	530	2,383	2,913	—	2,913

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

- 2 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,599	19,255	54,855	—	54,855
セグメント間の内部 売上高又は振替高	47	234	281	△281	—
計	35,647	19,489	55,137	△281	54,855
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	△737	1,962	1,225	—	1,225

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。